

# 花と緑の銀行だより

171号 2009.5



ヤマシャクヤク/立山町

目次	・花と緑の提言..... 2	・技術講座..... 6
	・花壇コンクール..... 3	・この人あり..... 7
	・写真コーナー..... 4	・情報コーナー..... 7
	・活動事例..... 5	

# 花づくり = 人づくり = 地域づくり

財団法人 花と緑の銀行  
専務理事 高長清則

## 花と緑の推進母体として

私が毎日通う中央植物園では、若葉が芽吹き新緑の匂いをそこここに感じるようになりました。ついこの間、桜のつぼみが膨らみ、咲き始め、そして咲き誇って、やがて花吹雪になって散っていきました。本当に、華やかで我々日本人の心をくすぐるひとときでした。そして、これからは色とりどりの花々が咲き競うとても心豊かな季節となります。

一方、世の中は目下大不況の真っ只中。金融、雇用から年金などさまざまな問題が云々され、この方では気持ちもとかく塞ぎがちになります。

こんなときにこそ、花と緑の銀行は、日頃の活動を通じて県民の皆さんがこぞって花や木を育てる楽しさを知り、生活の中に生かしていくために、花と緑の彩りある県づくりの中心となる推進母体としての役割を果たしていきたいと思っています。

## 花づくりから地域づくりへ

私たちの役割は、花と緑を介して、各種の事業を行い、特色のある豊かな地域づくりに繋げていくところにあります。

もとより、地域づくりのキッカケは、自治活動、環境保護、福祉教育、安全防犯など様々ありますが、「花・緑」は老若男女を問わず誰からも好かれる存在であり、このキッカケ作りには最適な媒体です。

住民の方々に率先して花づくりに参加していただく。活動の輪がいくつも出来て、その輪が次第に広がっていく。これが地域に暮らす仲間の連帯感を強め、地域づくりの原動力になっていきます。

## 花づくりを人づくりに

この、地域づくりの要はまず有為な人材の育成、つまり人づくりにあります。花と緑の銀行は創設以来、地域や学校などで花づくり緑づくりを進め、イベントなどを通じ花と緑にふれあう機会を増やし、そして研修を重ねて花と緑の指導者を育ててきました。

とりわけ力を入れている研修の分野にあっては、教え、教えられるという関係のなかでお互いの創造力、技術力を高め、その成果を地域に広げていけるよう目指すべき目標を明確に実施しています。

皆さんご承知のとおり、これまで花と緑の銀行は、関係機関、関係団体と協力しながら、

「富山県花と緑の新世紀プラン」に沿って、事業を進めています。

このプランでは、目標年次の平成27年度に向けてグリーンキーパー数を2千人、花と緑のグループ等が育成する花壇数を2千5百箇所と掲げており、平成21年3月末時点では、それぞれ1,680人、2,347箇所と目標の8割～9割となっており、今後ともその充実が求められています。

## 地域づくりを人づくりから

現在、ボランティアとして地域で活動いただいているグリーンキーパーの皆さんの平均年齢は67.3歳であり、60歳台・70歳台が活動の中心になっていただいています。近年、定年延長や再雇用など就業年齢の上昇等もあって、グリーンキーパーの平均年齢の引き下げはなかなか難しい状況にあります。

一方では、団塊の世代が還暦を迎え、多くの方々が第二の人生をスタートしておられます。今後、花と緑に囲まれた心豊かな生活を創造し、彩り豊かな住みやすい環境を確保していくため、これら団塊の世代の方々にこそ花と緑の活動に積極的に参加していただければと思っています。

このため、私たちは花と緑に関心を持つ個人・グループに対して研修、講習、情報提供などを通して働きかけ、支援してまいります。

## 新たな取り組みに向けて

また、富山県の花壇づくりは、全国的にもレベルが高く、毎年、全国のコンクールにおいて大臣表彰を受けるなど、日頃の活動実績や作品内容について高く評価されており、これを生み出す地域力にも関心が寄せられています。

このような特長をさらに県内に広げていくため、私たちは、県内各地の個性豊かな花壇を紹介するとともに、県民が積極的に参加できるイベントなどを考えていきたいと思っています。

このため、今年度の新規事業として、地域の花壇作りを応援し広く紹介する「とやまオープンガーデン推進事業」に取り組みます。これにより、花と緑に関心を持つ方々が増加し県民の間に花と緑の交流が進むことを期待しています。

皆様のご協力をお願いします。

## 花壇コンクールの審査にあたって

平成20年度 富山県花のまちづくりコンクール審査員  
洋画家 米田雪子

雪が解け、新しい春が訪れ、富山平野に菜の花が咲く頃、私は好んでそういうふるさとの風景を描く。広い平野の中に、輝くような黄色の菜の花が咲き乱れる風景は、澄み切った青空に白く輝く立山連峰とのコントラストがとても美しく心魅かれる。

春にはスイトピー、スイセン、夏にはひまわり、サルビア、秋にはコスモス畑等も描く。花のある風景は、花の持つやさしさがまわりの風景をやさしく包み込んでくれ、行き交う人の心を癒し、やさしい気持ちにさえしてくれる。

近年花壇の審査をするようになり、あらためて私の絵心と重なって、一段と花の世界が広がったように思う。見たこともないさまざまな花、赤、黄、オレンジ、うす紫など、元気をくれる花、心をなごませてくれる花等、花壇は私にとって感動的な出会いであった。

花に関しては、まるっきり知識のないままに、はじめは多少戸惑いもあったが、回を重ねる毎にたくさんの人と出会い、専門的な話も聞き、花の名前、特徴なども覚えたり、土づくり等、少しは身についたように思う。

花は土づくりが最も大切、強い花に育てるには、花の生育環境を厳しくする、水のやり過ぎは過保護になり強くならない。花は水が欲しくてどんどん根を張りめぐらせる。その結果根が強くなるということも学習出来た。花は元気で瑞々しく美しい色でなくてはならない。

私の担当は花飾りのデザインだが、花をどのように配置、デザインすればより美しく魅力的に見せられるかという観点から、たくさんの方の花壇を見てきた。

同じ花を植えても、それらの花がかもし出す特性をどう生かすか、立体感と色の調和、まわりの風景との関係、どのように自然環境とマッチさせるか、また、花壇づくりに携わる人たちの特徴が出せれば、なお素晴らしいと思う。花は色彩を持つだけに階調を欠くと、

それぞれが競合しあって、乱雑に見えてしまう、あらかじめデザインしたものに添って、造り上げることも大切だと思う。

それにしても非の打ちどころのない花壇に出会うと、ため息が出る位美しく、神秘的にさえ見えてくる。

このような立派な花壇を見るにつけ、花に携わる方々のご苦労は、並大抵のことでは出来なかったと思う。

土づくりにはじまり、暑い最中の水やり等、花に対するやさしさ、愛おしさはいかばかりかといつも、尊敬の念でいっぱいになる。

高齢化の時代、花を通して地域の方とふれあう機会が出来、また土とふれあうことで、少しでも健康で豊かな人づくりにつながり、生活に潤いと、やすらぎを与えてくれる。

花とみどりの活動は、多くの人を幸せにしてくれる素晴らしい活動であると思う。





# 第19回花と緑のフェスティバル

期日：平成21年2月20日～22日  
場所：中央植物園



テープカット



ピノキオ保育園児による  
オープニングセレモニー



フラワーデザイン



ミニ庭園「遊び心の庭」



プリザーブドフラワー



森づくり、森林機能の展示



実演・体験、各種教室



物販コーナー



展示の様子

## コンテナガーデン コンテスト



☆コンテナガーデン大賞☆  
射水市太閤山花と緑の地方銀行



表彰式



☆優秀賞☆  
砺波市東般若花と緑の地方銀行



☆優秀賞☆  
砺波市種田花と緑の地方銀行



☆優秀賞☆  
南砺市福野中部  
花と緑の地方銀行

# 1,442名の花園 「せせらぎガーデン植花夢」<sup>ウェルカム</sup>

花と緑の銀行 砺波支店  
東般若地方銀行頭取 長久春男

## 1. 東般若地区の位置と自然

東般若地区は、砺波平野の北東部に位置し人口1,442名 世帯数389戸を有し地区民の連帯感が非常に強い純農村地帯であり、散居村の一角を担っています。

## 2. 花と緑の推進協議会発足とはたらき

平成2年11月に当推進協議会が設立されて以来、自治振興会館、各自治会代表、婦人会、公民館、寿会、その他諸団体及び関係者が中心となり農村公園内において花壇づくりを行ってきました。地区民総参加による花と緑の普及につとめ、潤いある村づくりを目的としています。

## 3. 主な活動

☆東般若農村公園内花壇「せせらぎガーデン植花夢」

平成17年に婦人会花壇の優秀賞受賞をきっかけに地区民の花に対する想いが一気に高まり、花壇の造成をし婦人会と合同で新規花壇づくりに着手、同年7月に水車のある小川やナイター設備も配置しボランティア活動により150種以上の花木、宿根草、水生植物、1年草、ハーブ類等の競演花壇としてうまれかわった。



☆工業団地前及び主要交差点など

コカ・コーラ前にフラワーポットを配置。社員の皆さん、通行中の人々に一時の目を楽しませている。又 主要交差点、保育園前にもプランターを配置し一時のやすらぎに役立てればと努力しています。



☆地区振興会館周辺及び各自治会公民館前

地区振興会館前のグラウンド周りにも約300個のプランターを、又 9自治会の公民館前にもフラワーポットを配置するなど自治会組織でも活動を展開している。

## 4. 今後の目標と努力と挑戦

☆東般若の花壇づくりは、市販されている花等にこだわらず家庭の庭にさいている花、草、又 道端に寂しく咲いている花など誰でもが持ち寄って植える手作り花壇を目指している。



☆花と緑の会員、婦人会員は地区の行事にも積極的に参加し花を通して地区民の融和を今以上に高めるよう奮闘中です。

## 5. 終わりに

花づくりを通して先人の皆さん、地区民の皆さんに感謝。そしてこれから地区を背負っていく子ども達に自然の美しさ、又 人や物への思いやりなど汗を流しながら学習し、豊かな心が養われればと強く願っています。



## 富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン①

職藝学院  
教授 渡邊美保子

庭園で楽しむことのできる宿根草には、様々な種類があります。開花期間、花色、葉色、質感、草丈等を計算し、生態にもとづいて組み合わせると、生きた絵画のようにデザインすることができます。花壇の手前から奥に向かって草丈が高くなるような種類を植えて、隣り合う宿根草の開花を少しずつ重なるように組み合わせると、季節感のある花壇を楽しむことができます（写真1）。



(写真1)  
グリーンキーパー実習花壇 2008年6月中旬  
宿根草と一年草の組み合わせ

5月中旬から咲き始める3種の宿根草の組み合わせをご紹介します（写真2）。写真は、一番奥から順に、バーベナ・ボナリエンシス（紫色）、トリトマの品種ロイヤルスタンダード（橙/黄色）、ガウラ（矮性種、桃色）の5月中旬の様子です。いずれも日当たりを好み乾燥にも耐え、有機質中心の土に植えると肥料をほとんど必要としません。この組み合わせで一番早く咲き始めるのは、トリトマです。5月初旬、放射状に広がるたくさんの細長い葉の中から、大仏様の頭のようなつぼみの集団が現れます。これをぜひご覧いただきたい。私は毎年見落とします。なぜなら、気がつくと花茎はあつという間に30cmほど伸びています。（一晩で！）その生長スピードはタケノコのごとく、つぼみは、あつという間にオレンジと黄色に染まっています。トリトマの根は硬い粘土質の土壌でも突き抜けていくほど丈夫です。追肥は絶対してはいけません！すればするほど葉の幅が広くなり全体が

巨大化してゆきます。なぜか園芸コースの学生の意見は二つに分かれます。「アートですね」と、うっとりする人。「怖いです」と、目をそらす人。私にはその両方の気持ちがよくわかります。

さて、太めの茎を持つトリトマとは対比的に細身の花枝をトリトマと競い合うように伸ばしているのは、バーベナ・ボナリエンシスです。3尺バーベナとも呼ばれています。肥料をあげすぎると名前以上に伸びて暴れてしまいますので気をつけましょう。てっぺんの花が咲き終わり黒っぽくなってまいりましたら、花がらのついた茎を下にたどってゆくと節がありますのでその節の上で切り戻します。すると、節から脇芽が向かいあって2本伸びてきて再び花を咲かせます。9月末ごろまでこの作業を繰り返すことにより11月初めまで花を楽しむことができます。

バーベナとトリトマの手前で、ピンクの噴水のような姿で咲いているのは矮性のガウラです。あまり大きくならないので鉢植えで楽しむことも出来ます。ガウラの別名はハクチョウソウとも言われていて、小花ひとつひとつは、まるで白鳥が羽をひろげたような形をしています。しなやかな細い枝が風にゆれると、隣の宿根草をなでるようにやさしい色に染まります。咲き終わった花が付いた花茎を途中から切り戻しますと、脇芽が伸びて再び開花し、夏の終わりで楽しめます。



(写真2)  
グリーンキーパー実習花壇 2008年5月中旬  
奥から、バーベナ・ボナリエンシス、  
トリトマの品種ロイヤルスタンダード、ガウラ（矮性）



## 花と緑の銀行が取り持つ地域づくり

朝日町山崎地方銀行頭取 上不良雄

朝日町は富山県の東北部に位置し、朝日岳を背景に山崎地区があります。私たちの地区では、頭取1名、グリーンキーパー3名が地区の花壇管理等に先頭に立ってがんばっています。地区にはスーパー農道沿いに3カ所、辻町内に1カ所、廃校になった小学校跡地に1カ所の5カ所に私たちが管理している花壇があります。

先輩から引き継いだスーパー農道沿いの空き地3カ所では、春の草花の植え込み、サツキの刈り込み、秋のチューリップ球根植え、そして日常の灌水、除草等の管理を行っています。

辻町内では、公園が出来たのを機会に園内の花壇の管理等に積極的な役割を果たしながら、町内の皆さんと一緒に楽しんでます。

平成14年に廃校になった山崎小学校跡地には多目的施設「紅悠館」が出来ましたが、平成17年に花と緑の銀行の補助事業で、その施設横の県道沿いに花壇を造成しました。草花の植え込みに自治振興会の多くの皆さんが参加され立派な花壇になりました。今年で4年が経過しますが、今年もチューリップが見事に咲き、朝のウォーキングの休憩場所、年配者の憩いの場となって、地域の皆さんに大変喜んでいただいていることで、日常管理の苦勞も消え去る思いがしております。

一昨年、銀行のステップアップ研修に参加する機会を得ました。思えば年間20回の研修を、仲間と親睦を図りながら修了できたことを、ご指導いただいた先生方や銀行の皆さんに感謝申し上げたいと思います。

同時に、この研修で得た花壇管理、土づくり等の知識や技術を活かし、山崎地区が花と緑を通じてより良い生活の場となるように努力して参りたいと思っています。

〈情報コーナー〉

### 富山県花のまちづくりコンクールに応募を！

本年も、学校、幼稚園・保育所、団体、企業、個人を対象に、花づくりを通じた花と緑に親しむ潤い豊かな環境づくり、地域づくりの推進のため、花を活用したまちづくりを顕彰します。

区分	部門	幼稚園・保育所花壇	学校花壇	花の道	一般花壇	個人花壇
対象		団体				個人
花壇規模		30㎡以上	30㎡以上	100m以上	30㎡以上	
応募方法		支店(市町村)の推薦による				一般公募
推薦枠		応募数が多いため市町村毎に定めてあります。				
締め切り		7月15日(水)	7月15日(水)	7月22日(水)	7月29日(水)	7月10日(金)
一次審査		各支店(市町村)で実施				7月17日(金)
二次審査(現地)		7月21日(火)～ 7月22日(水)	7月28日(火)～ 7月29日(水)	8月3日(月)～ 8月4日(火)	8月10日(月)～ 8月11日(火)	7月31日(金)

詳しくは市町村の花と緑の銀行支店にお問い合わせください。

#### ◆花と緑の銀行 頭取・グリーンキーパー研修の御案内

日時：平成21年6月18日(木)13時30分～15時30分

場所：富山市婦中ふれあい館ホール 富山市婦中町砂子田1-1

内容：花の新品種・資材の紹介と栽培法について(講師：種苗会社)

(新品種開発の動向や利用法等最新の情報が満載!!!)

一般県民の方も聴講できます。問い合わせはTEL076-466-2425まで。

#### 【訂正とお詫び】

銀行だより170号の7ページ上段「全国花のまちづくりコンクールで大臣賞」の記事中左側の段、上から4～5行目が以下のように訂正になります。

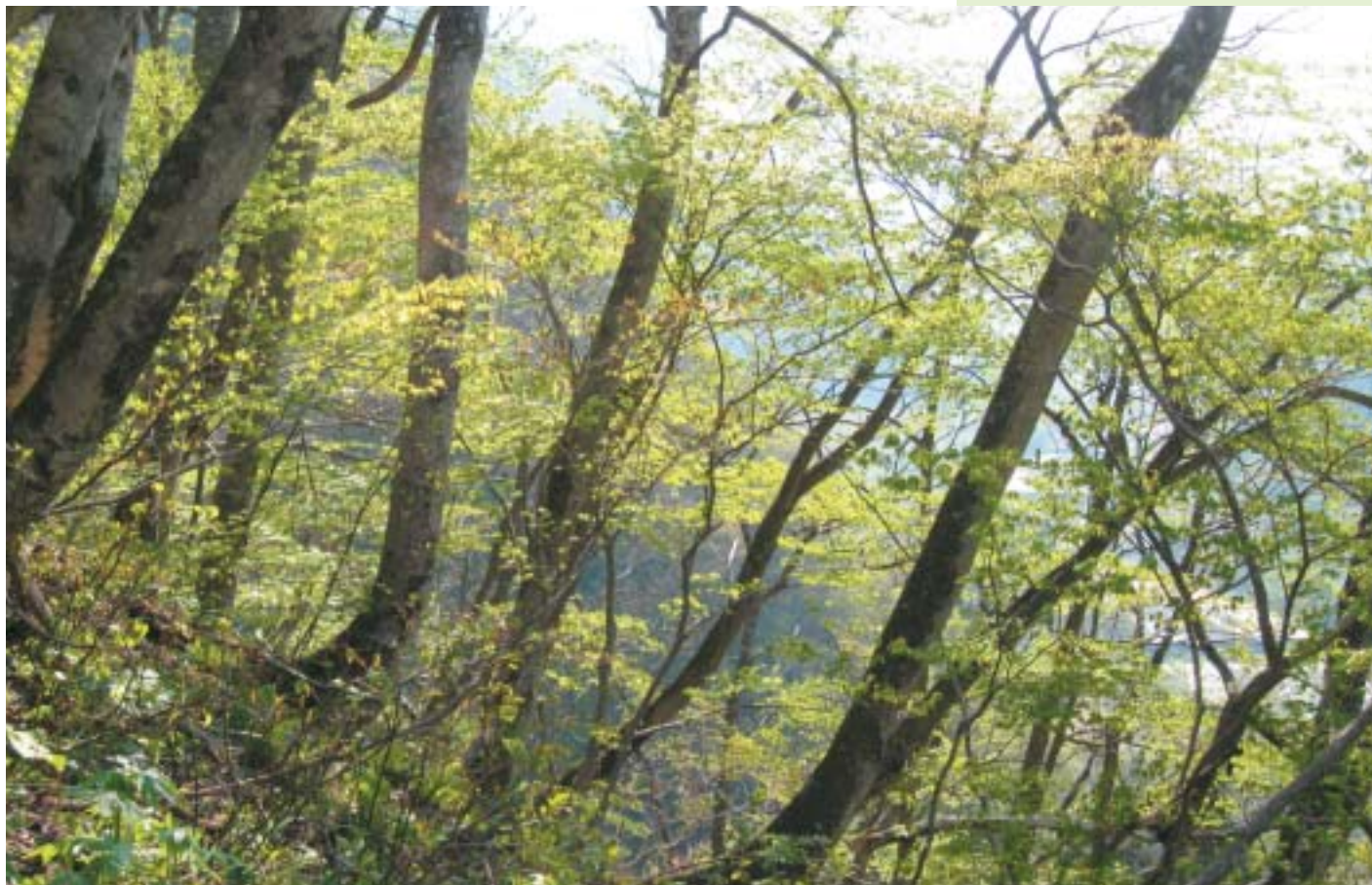
関係者の方々には大変ご迷惑をおかけしました。心からお詫び申し上げます。

(誤)が、同通産大臣賞(団体部門)を成美花と緑のパノラマ(写真 左から2人目 代表中村良蔵さ

(正)が、同国土交通大臣賞(団体部門)を成美花と緑のパノラマ(写真 左から2人目 代表田中 博さ

表紙写真：ヤマシャクヤク(山地の樹下に生える多年生草本、キンポウゲ科、県内に広く分布、立山町)  
裏表紙写真：早春の林内(立山町、立山山麓)





早春の林内／立山町

**花と緑の銀行だより 171号**

発行日 平成21年5月

編集発行 財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-2425

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/fgbank/>

**富山県中央植物園**

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org>

**富山県花総合センター**

〒939-1383 富山県砺波市高道46-3

TEL 0763-32-1187

FAX 0763-32-1219

ホームページアドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1692/1692.htm>

**県民公園頼成の森**

〒939-1431 富山県砺波市頼成156

TEL 0763-37-1540

FAX 0763-37-1450

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>

